

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 ジャパン・タスクフォース
活動テーマ	ラダー・レスキュー・システム講習 (梯子を使った救助方法)



我々、特定非営利活動法人ジャパン・タスクフォースは、災害発生時に現場にいち早く駆け付け、救助活動を行う消防・防災関係者の方々に、従来の救助方法に組み合わせが出来、消防に限らず災害時どこにでもある様な梯子(はしご)やロープを使用して、最小限の資器材(道具)で、安全で効果的な救助方法を紹介するために今回活動助成の採択を頂き活動させて頂きました。

近年、東日本大震災などの津波、台風、豪雨による土砂崩れなど、日本国内において災害が頻発しています。

災害時には、消防・防災機関が保有する人材・資器材(道具)などが不足し、救助に時間を有してしまい、その結果、被害が大きくなります。

そこで、我々は、災害対応の先進国である米国の災害専門トレーニング過程修了者・米国大学認定の災害救助コース修了者などが講習構成を担当、日本の風土を考え、現役の日本の消防士の意見も参考にしました。

講習全体をとおして、救助方法・道具の特性を知り、災害時の危険な現場の中でも、救助者自身が安全に活動を行うことの重要性、また汎用性に優れた方法、現場状況に見合った方法を選択することにより、迅速な救助活動、要救助者の救出に繋がることを伝えています。

今回、3年連続で助成を頂いたことで、消防団員や防災関係者の受講者も大きく増え、今年度は講習実施の殆どが各消防の貸切講習となる様な高評価を頂き、受講された方々が各地域でこの「ラダーレスキューシステム」を広められ、日本の防災力強化へ繋がっていると確信しております。

今後、益々必要となるこの様な災害対応技術を広め防災・減災に貢献するために！